

	方剂名	効能	生薬組成
	書籍	主治および証	病機 方意
理血剤 止血剤 3			
がいけつほう 咳血方	丹溪心法	清熱化痰・止咳止血	青黛 6g・栝楼仁 9g・海浮石 9g・山梔子 9g・訶子 6g 水煎し服用する。 粉末を姜汁と蜜で丸にし、嚙んで服用してもよい。
		<主治> 肝火灼肺 咳嗽、粘稠な痰、痰に血が混じる、喀出しにくい、いらいら、怒りっぽい、胸脇部の痛み、頬部の紅潮、口乾、便秘、舌苔が黄、脈が弦数など。 <病機> 肝火が肺を犯して、肺気上逆を引き起こした状態である。 肝火が肺気を上逆させ、肺絡を灼傷して血が上溢するので、咳血<咳嗽、痰に血が混じる>が生じる。肝火が肺津を煎熬するために、痰が粘稠になり喀出しにくい。痰、血が肺を内阻すると、肺気上逆が加重して咳嗽が激しくなる。いらいら、怒りっぽい、胸脇痛、頬部紅潮、便秘、舌苔が黄、脈が弦数などは肝火上炎を示している。 <方意> 肺の病変であるが、原因は肝火であるから、肝火を直清すべきである。 清肝瀉火、涼血の青黛・山梔子が主薬で、肝火を直清する。清肺化痰、潤燥の栝楼仁・海浮石は肺熱を清して粘痰を除き、清熱斂肺、止咳の訶子は咳嗽を止める。全体で清肝寧肺の効能が得られ、止血薬を用いずに咳血を鎮めることができる。 <参考> 加減法 咳が強く痰が多いときは、杏仁・貝母・天竺黄を加える。 火盛傷陰が明らかなら沙参・麦門冬などを加える。	